

令和元年度 第1回学校評価〔保護者等対象〕の集計結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

7月に実施したアンケート調査の結果をお知らせいたします。ご多用の中、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

尚、本結果を地域協働学校運営協議会にて報告し、対応策等について校内で検討しました。下記にその一部を掲載します。

1 主な評価結果について

No.1（ICT機器を活用した学習）

分析

- ・概ね高い評価でした。保護者については14,8%が「わからない」と答えており、保護者に伝える機会を設ける必要があります。

今後の対応

- ・継続してICT機器を活用した授業を行うとともに学校公開等で、ICT機器を使用した学習を意識的に取り入れていきます。
- ・次年度から本格実施となるプログラミング教育について効果ある取組ができるように計画していきます。
- ・ICT機器を活用した教員研修を今後も実施していくとともにICTを活用した個々に即した学習（AI機能を含む。）を調査研究・実施していきます。

No.4（外部人材）

分析

- ・児童に低い評価が見られました。地域という言葉をも十分に理解することができなかったことと未実施であった学年があったこと等が考えられます。また、保護者の12,2%が「わからない。」と答えていました。外部人材（特に地域）の活用が比較的多いという本校の実態についての周知が十分でないことも考えられます。

今後の対応

- ・児童に対して外部の方に来ていただく目的を明確に伝え、事前や事後の学習をしっかりと行うことによって意識を高めます。
- ・保護者に対しては、今後も継続して、学校公開やお便り等で伝える機会を多く設けていきます。また、ホームページに授業の様子を公開していく検討をします。

No.6（食育の取組）

分析

- ・児童にやや低い評価が見られました。給食指導の在り方について、検討していく必要があります。保護者の回答については、高い満足度が見られました。

今後の対応

- ・今後も給食委員会の毎日の放送をしっかりと聞かせ、担任がその内容を補う等の充実を図ります。
- ・生活科や総合的な学習の時間等において「食」に関する学習について、意識を高める指導を充実していきます。

No.7（学習準備）

分析

- ・学習準備ができるということはとても大切なことです。そのような視点からは、この評価は低い評価だと考えます。今後も大きな課題ととらえ取組の充実を図る必要があります。

今後の対応

- ・児童の状況に応じて、授業を通した授業準備の指導の充実を図ります。
- ・保護者会等で現状を伝え具体的な課題を保護者と共有し、より連携と協力を深めていきます。

No.9（意欲や自信をもって学ぶ）

分析

- ・児童は概ね高い評価でしたが、「分からない。」と回答している 17.8%保護者の理解が必要です。

今後の対応

- ・本校の研究テーマや取組について、ホームページや学校だより等でお知らせします。
- ・新学習指導要領で求められている「主体的に学習に取り組む態度」の充実、改善を図っていきます。

No.14（いじめ相談）

分析

- ・児童の低い評価は、先生に相談という設問が担任だけに相談するという理解になっていることが考えられます。
- ・32.6%の保護者の「わからない。」という回答は、当事者にならないと実感することができないことが考えられます。

今後の対応

- ・担任以外の相談先が多くあることを児童に周知し、複数の教職員で組織的に対応していきます。また、スクールカウンセラー等の活動も積極的に伝えていきます。
- ・今後もいじめだけでなく児童からの相談については丁寧に対応し、信頼関係を築いていきます。
- ・道徳科で友達との関わり等についての授業を全学級で一斉に実施していきます。
- ・教職員が、いじめの予防や早期発見の取組の充実、hyper・QU の活用を今後も追究していく。

No.16（主体性、豊かな心）

分析

- ・保護者の高い評価に比べて、児童の評価はやや低くなっています。

今後の対応

- ・ひとつひとつの取組に意義をもたせ、自らすすんで取り組むことができるような指導を心掛けていきます。また、その取組に対して適切に評価していきます。
- ・価値ある体験ができるような環境づくりに努めていきます。
- ・ユネスコスクールとしての活動をさらに推進していきます。

No.17（ネットリテラシー）

分析

- ・児童に低い評価が見られました。インターネットを活用する時のルール等については保護者との認識のずれが 20%を超えていました。

今後の課題

- ・児童の発達段階に即して、情報活用能力とともに情報モラルについてもしっかりと取り組んでいきます。
- ・道徳科のインターネットの使い方やSNSルールについての学習を充実させます。
- ・保護者会や個人面談等の機会をとらえて、家庭との連携を図ります。